

学校教育目標	◎ 自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子 知 自ら学び、よく考え、よりよく解決する子を育みます。 徳 自分やまわりをみつめ、心豊かに生活できる子を育みます。 体 心と体を鍛え、心身共に健全な子を育みます。 公 「ひと」「まち」とのふれあいを大切に、共に生きる子を育みます。 開 社会の変化に関心を持ち、未来をみつめる子を育みます。				
	学校概要	創立 49 周年	学校長 金森 孝子	副校長 稲富 陽子	2 学期制 一般学級：17 個別支援学級：2 児童生徒数：508 人 主な関係校：東山田中学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	自ら考え行動し課題を解決する力 交流し協働できる力(友だちや地域)	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		東山田中学校 山田小学校 北山田小学校 東山田小学校	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます ・中学校ブロック4校の教職員の共通理解のもと、児童一人ひとりの存在をしっかりとみつめ、よさや違いを認め合い、学校内外の人とのかかわりを大切にされた教育活動に取り組みます。

中期取組目標	○学校教育目標を実現するため、笑顔にあふれ充実感のある学校づくりをめざします。 ・児童一人ひとりが、自己目標の達成を実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・児童一人ひとりが、山田小学校の一員であることを自覚できるように望ましい集団生活を営んでいきます。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域・関係機関と連携し、信頼・協力のある学校づくりを進めていきます。 ・教職員が一丸となって連携しながら個々の力を発揮し、組織を活性化した学校運営に取り組んでいきます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知	これまで行ってきたような授業公開による研究や、一堂に集まったの研修を通じた取り組みは難しいと考える。新型コロナウイルス感染拡大下での学校を取り巻く状況を見ながら、新しいツールを使ったり、新たな工夫を考えたり、子どもたちとも対話を重ね、最適な取り組み方を模索していく。
担当 重点研推進委	
豊かな心	①子どもの実態をもとに「教科書」を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。②縦割り活動や地域交流等を通して、自他を認め合う心、思いやりの心を育てる。③家庭や地域と連携し、進んで挨拶ができるように、日常的にあいさつ運動に取り組む。④人権週間を設け、授業等を通して人権意識を高める。
担当 人権福祉委	
健やかな体	①年間を通じ、体育の授業やパワフルタイム等を活用し、一校一実践運動の縄を使った運動を通して、全校で体力づくりに取り組む。全校共通縄跳びカードを作成し、継続的な取組とする。②学校保健委員会を中心に、一人ひとりがよりよい生活習慣を築けるように活動に取り組む。
担当 体育部	
児童生徒指導	①いじめ防止に向け、児童情報や学校のきまり、個に応じた指導について共通理解して指導にあたる。②一人ひとりが大事にされる学級づくりをするために、「Y-Pアセスメントシート」を活用して実態把握に努め、各学級の課題に応じた社会的スキル横浜プログラムを実施する。
担当 児童指導委	
特別支援教育	①療育センターや子家相などの関係諸機関との連携を進め、実践的な支援・指導につなげる。②全校TTの意識を共通理解し、実態に合った指導、環境整備についての研修など多面的な支援体制の整備を行う。③特別支援教育の推進のために、個に応じた指導の形態を工夫する。
担当 特別支援教育委	
地域連携	①生活科や総合的な学習の時間等を中心とした、地域協力者等と連携した教育活動の継続に向けて、ねらいや系統性を整理しながら教育課程の見直しをする。②学校説明会、学校づくり懇話会、懇談会等の機会や学校便り等を活用し、本校の方針や情報を発信し、地域や保護者と連携を図る。
担当 地域連携担当・総合部	
	b7
担当	
	b8
担当	
いじめへの対応	①いじめ防止に向け児童情報や学校のきまりを職員で共通理解して指導にあたり、個に応じた指導についても職員間で共有する。②月1回、定期的に学校いじめ防止対策委員会を開催する。③いじめに関するアンケートを年2回行い、児童の様子や心情を把握する。必要に応じ教育相談も行う。
担当 児童指導委	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①授業研究を通して、教師の指導力を高める。②組織体制を生かして連携し、経験ある職員により日常的に若手指導を進め、メンターチームを中心とした研修を通して若手教員の教師力、実践力等の向上を図る。③学校運営組織が連携・協力しながら推進できるように体制づくりを進める。
担当 教務部	